

コフナ（好嫌気性複合微生物資材）×高濃度菌根菌 水稻（バケツ稲）栽培効果試験



コフナの土壌有機物を分解し栄養素を豊富にさせる働きと
高濃度菌根菌/Rootella®の根張促進→栄養吸収網拡大の働きで
作物の高成長が期待できないか、検証。



人工気象器 バケツ稲試験概要

試験区：①無処理区、②Rootella®区

③コフナ区、④コフナ×Rootella®混合区

N数：バケツ稲各区1個ずつ

資材：コフナ→播種1週間前に培土へ混和&有機物混和

：Rootella®→播種時種子粉衣

手順：播種、移植、中干、収穫（2025年11月-2月）

※収穫時期に計測

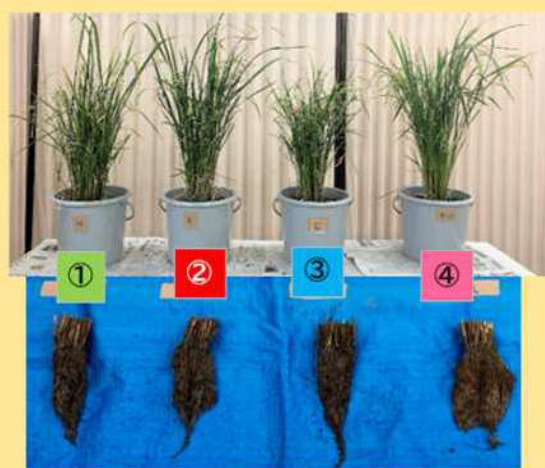
項目	N区	R区	C区	R×C区
全長(cm)	82	93	72	94.5
有効分げつ数(本)	23	36	25	50
籾数(全体)	1,292	1,565	1,061	1,988
全籾重(g)	28	35	23	47
百粒籾重(g)	2	3	2	3
百粒玄米重(g)	2	2	2	2
菌根菌定着率(%)	1	11	4	10

※農林水産省が定める土壌改良剤としての菌根菌資材の基準は、定着率が5%以上である事

クローズド型人工気象器



昼間28度、夜間25度、湿度70%



結果と考察

コフナ×Rootella®混合区が、Rootella®区と同等の菌根菌定着率が見られたことから、菌根菌が阻害される事なく定着でき、地上部や根張も最も高い成長をしており、かつ重量も維持していることから、**資材混合によりコフナの土壌肥沃化と、Rootella®の栄養吸収促進の相乗効果が期待できる可能性がある。**

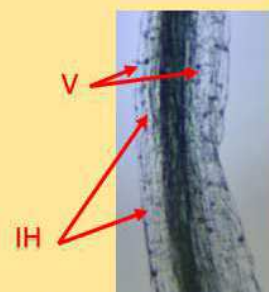
コフナとは？

100種類以上の好気性・嫌気性の有用微生物を含む土壌改良資材で、
温度や酸素環境を問わず働く多様な微生物が土づくりを力強くサポートします。
有機物の分解と腐植化を促進し、団粒構造の形成・保水性／排水性改善・
根の活性化に貢献します。

菌根菌とは？

4億年前から地球上に存在している、植物の根に共生する糸状菌です。
土中へ菌糸を伸ばし、養分（特にリン）や、水分を吸収し植物に効率よく供給し健康的に成長させます。

製品名：Rootella® F/Groundwork Bio Ag.



Vesicle:のう状体・・・菌が吸収した養分を貯蔵
IH(Internal Hyphae):内生菌糸・・・土壌の養分を供給

免責事項：上記記載は一切保証されているものではなく、いずれの関連企業に法的義務をもたらすものではありません。

SHIMA
Trading Company Ltd.

島貿易株式会社

事業推進部 TEL:03-3546-3129
agri-lab@shima-tra.co.jp